

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 008	提案機関名 山北町 農林課
要望問題名 ヤマビル生息域の拡大による農林業への影響について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ヤマビルの生息域は、神奈川県においては元来山間部に限られていたが、近年では山麓部にまで拡大しており、農耕地や住宅地にまで広がりを見せている。 農林業従事者においては、ヤマビル被害により従事意欲の減退が見られており、ヤマビル対策が重要な問題となっている。 については、ヤマビル生息域の拡大抑制及び被害対策のため、ヤマビルの生態及び有効性の高い駆除剤や忌避剤の開発を研究問題として提案する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 茶園等農耕地におけるヤマビルの分布実態と防除対策		
対応の内容等	茶園におけるヤマビルの防除は、上記試験研究課題により試験を実施した結果、茶に登録のある一部の農薬を散布することで、ヤマビルの密度が低下することを明らかにしております。詳細については、以下に掲載されていますのでご活用ください。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	「ヤマビル対策共同研究報告書」 (平成21年 神奈川県) https://www.pref.kanagawa.jp/documents/15105/80621.pdf 「茶園管理がヤマビルの生息に及ぼす影響」 (農業技術センター 研究報告 第151号 2009年) https://www.pref.kanagawa.jp/documents/27459/530769.pdf		